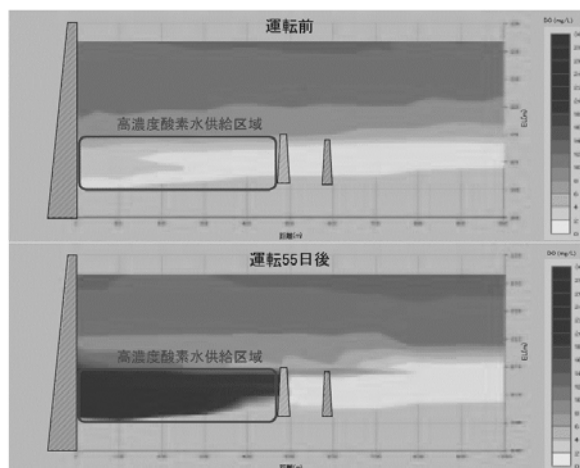


気液溶解装置



ダム湖における貧酸素解消事例 (55日間運転)



[WEPシステム] 高濃度酸素水による水質改善装置

装置を水中に設置し、水深の圧力を利用した気液溶解方式により高濃度酸素水 (DO=20~50mg/L程度) を生成、吐水します。高濃度酸素水は水平拡散し、1日で200m程度の到達距離を達成します。この装置により、ダム湖や湖沼などの閉鎖性水域の貧酸素状態を解消し、底質 (岩盤や堆積物) からの金属元素や栄養塩の水質汚染物質の溶出を抑制し、水質浄化に高い効果が得られます。

商品概要

気液溶解装置 標準仕様120m³/h

2006年9月8日特許登録 特許第3849986号

2006年販売開始、売上累計5機 (島根、山口、千葉)

関係機関・研究者

松江土建(株)、(独)土木研究所

島根県産業技術センター (塩村技術部長)

島根大学 (清家准教授、相崎教授)、中国経済産業局

問い合わせ

松江土建(株)環境部 TEL: 0852-24-5478

<http://www.matsue-doken.co.jp>

■（参考資料：産学官が連携した取り組み）



日立ツール(株)：基盤技術研究センター



プラズマ複合コーティング品

プラズマ熱処理開発プロジェクト

島根県（産業技術センター）は、プラズマを活用して、金属材料の表面処理を行い、硬度や耐摩耗性を高める技術、装置を、産学官の連携により研究開発している。

この成果をもとに、島根県と日立金属が連携して開発した複合コーティング技術を、平成21年3月に日立ツール（株）が事業化した。平成22年1月には、日立ツール（株）の基盤技術研究センターがソフトビジネスパークに新たに立地している。

関係機関

日立金属(株)、日立ツール(株)
島根大学
島根県産業技術センター 等

Ruby・OSSの取組

